

# 川越市政だより

NO178

月1回10日発行1部2円/昭和32年6月15日  
発行所 埼玉県川越市役所 第三種郵便物認可

新文印刷社  
印刷

## 人口のうごき

6月1日現在	843
人口	125,847
男	62,816
女	62,402
世帯数	28,491
出生(5月中)	191
死亡(5)	167
前月比	479人増

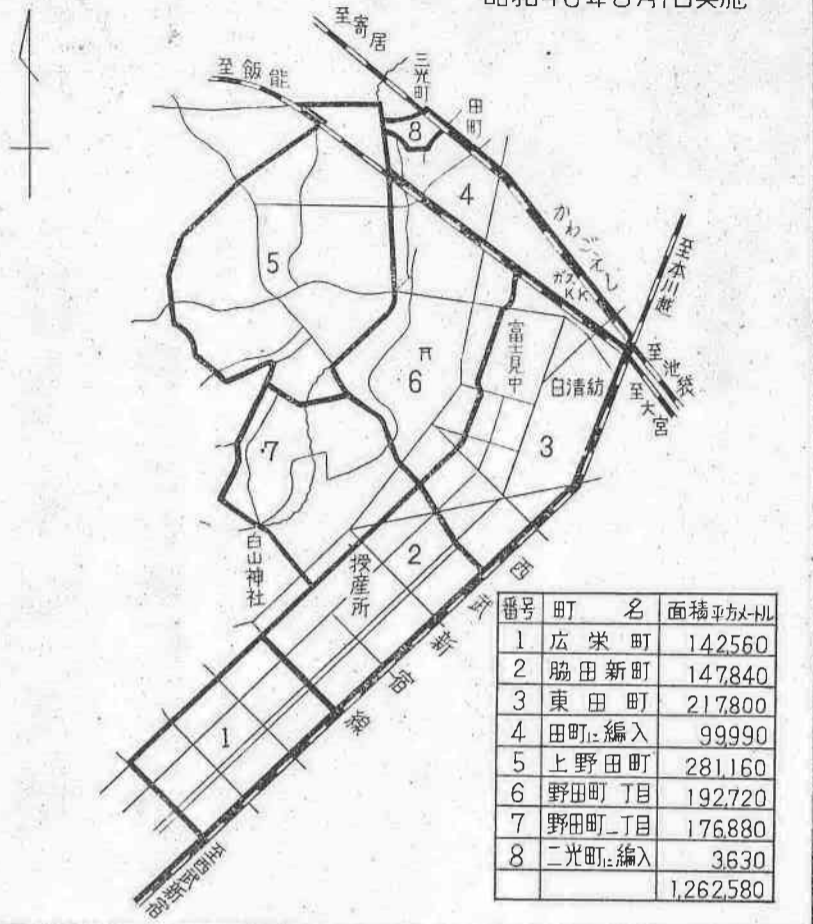
## 7月のメモ



- ▽夏の健康を守る運動(七月二十一日まで)
- ▽自然に親しむ運動(七月二十一日~八月二十日)
- ▽第十五回社会を明るくする運動(二日~三十一日)
- ▽国土建設週間(十日~十七日)
- ▽川越百灯ちょうちん祭り(十三日~十五日)
- ▽海上安全週間(十七日~二十三日)
- ▽第十四回職業訓練競技大会(十九日~二十九日)
- ▽第十六回全国統計大会(二十日~二十一日)
- ▽海の記念日(二十日)
- ▽固定資産税、国民健康保険第二期の納期限(三十一日)

## 川越市町名地番整理地域図

昭和40年8月1日実施



## 8月1日に地区整理

### 広栄町など6町が誕生

市の地区整理は、昭和三十六年三月一日に第一回を実施して以来四か年にわたりましたが、この間みなさんの協力によりまして、すでに実施面積七百七十五万五千七百九十平方メートル、新しい町六十一町が誕生しました。

市では、実施計画の最後として脇田、野田区域について、去る三月の市議会に議案を提出し、町名町制が議決されましたが、この整理を八月一日に実施いたします。これによる新しい町は、広栄町、脇田新町、上野田町、野田町二丁目及び野田町二丁目六町、大字野田、脇田の一部が田町に編入また大字野田の一部が三光町に編入されます。

## 市街地の家屋調査

### 平面図作成と評価で

昭和四十二年度は、固定資産標準年度にあたり、評価がその年で証明書を発行して調査する上にならなければならない市街地(町名を別記)の家屋について一せいに調査することになりました。

調査の内容は、みなさんのお宅にお伺いして家屋の現状を調査するとともに、現地では家屋の平面図を作成することです。このため、家屋の内部もみせていただくことをお願いいたします。

調査期間は、六月二十八日~十月二十日。

## 消防吏員募集

資格：新制高校卒または同等程度の学力を有するもので、市内に居住可能なもの。

年齢：十八才~二十五才。

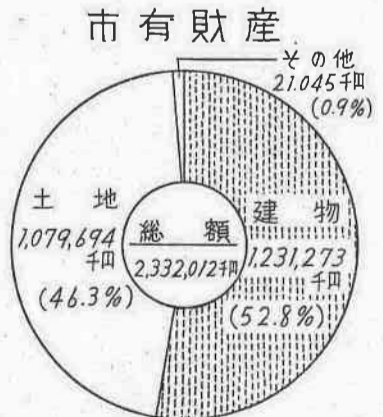
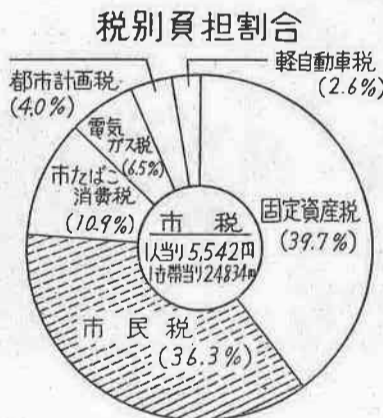
給与：月俸一万七千五百五十円ほか諸手当、制服、作業衣などを支給。

なおくわしいことは消防本部へお問い合わせください。

## 市の財政白書

……昨年10月からことしの3月まで……

市条例の定めにより、昭和三十九年十月一日から昭和四十年三月三十一日まで、この間の市の財政事情が公表されました。市の会計年度は四月一日から翌年三月三十一日までとなつて



## 収入

この収入の大きなものは、何といつてもみなさんからの税金で、予算に占める割合は、四二・八パーセントと約半分に近い額になっています。

次に地方交付税で総額予算の八二・四パーセントを占め、その額は一億五千四百八十一万四千円になります。

## 支出

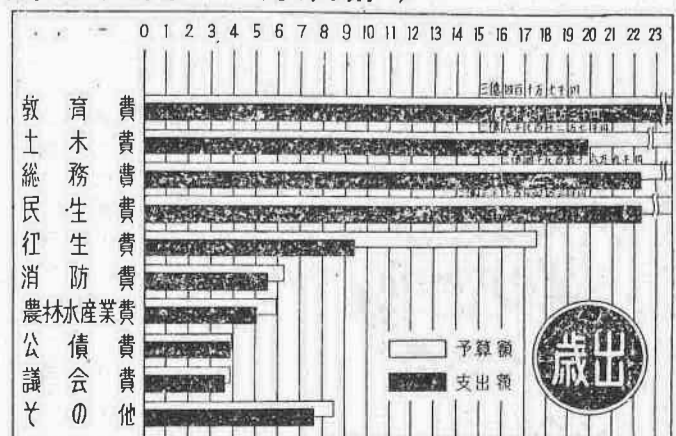
夜に才出の面からみると、主に事業費である投資的経費は、四億六千四百万円となり、総予算の三〇パーセントを占めています。これは、都市全体からみて、標準的な投資といことができています。

またこれに続いて第二次被服事業も三十九年度から着手いたしました。これが、これにより新市街地農業地区にも給水をする予定で、これに農業地区にも「水道」という都市的施設の実現も間近になったわけです。

## 特別会計

特別会計	収入	支出
谷線バス工事	530,000	530,000
上五橋線の六軒町内貫通、工業住宅用地の取得付道路である川越駅南大塚線、市内交通対策としての三番町通り交差点の拡充、一方、十七万坪の隣接地に隣接する事業の助成指等があげられ	371,417	371,417
その他	117,927	117,927
合計	1,019,344	1,019,344

## 予算に対する収入支出の状況(一般会計)



## 市債の現在高一般会計における目的別状況

